

「ねえねえ、おくのは、
せきやどはんのとびち
だったんだって？しかも、
くの「だいかんし
よ」が、あったんだって
よ」

「とびち？」

「だいかんしよ？」

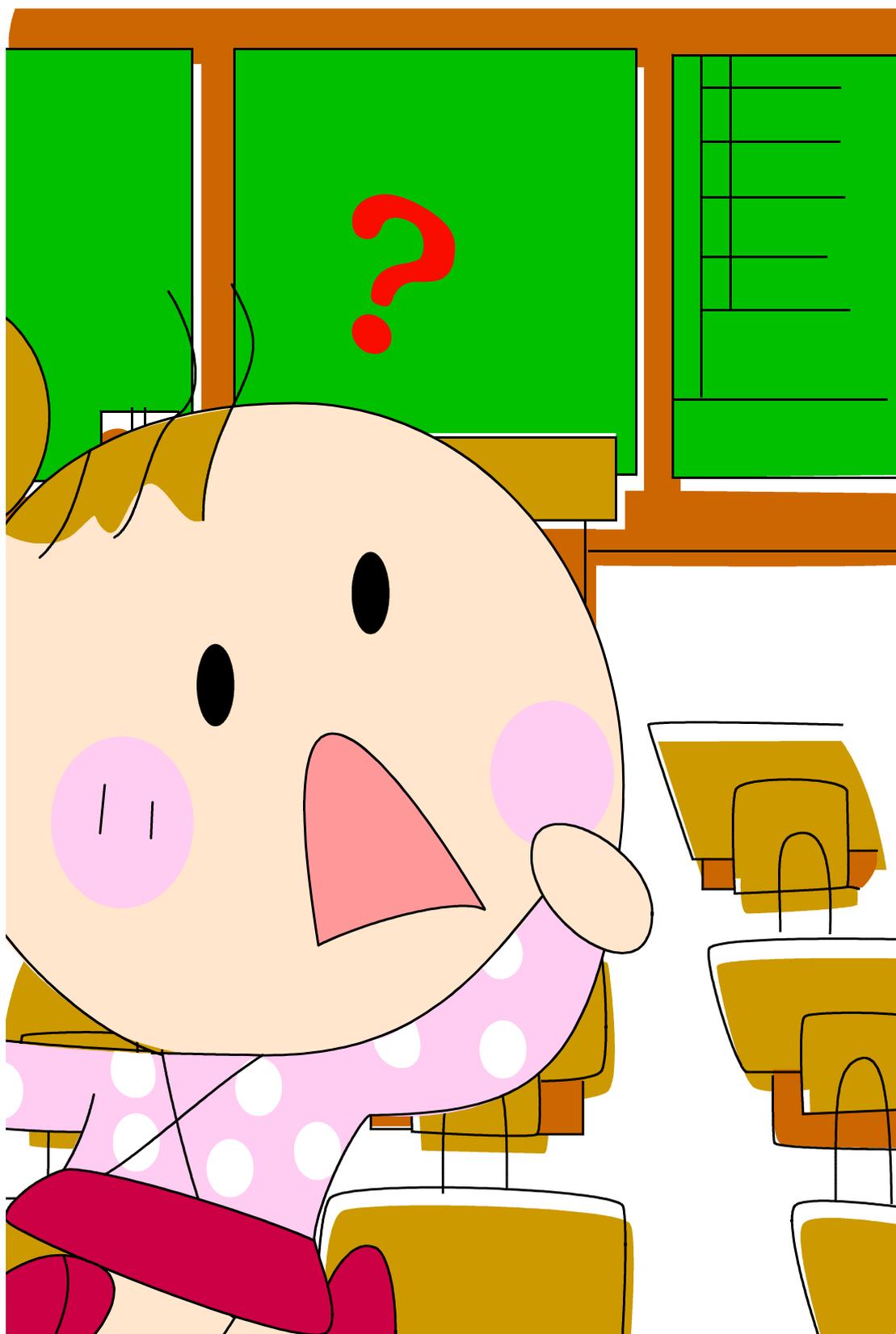
「え！なにそれ？」

※とびち：せきやどはんのほんとうのりょう
ちは、ちばけんにあったんだ。

※だいかんしよ：いまのしやくしよみたいな
ものかな。おくので ちからのあった「お
おしょうや」が、かねていたんだ。



「そんな、そんなはなし
きいたことないよ」
と　りりちゃん。



「わたしも きいたこと
ないわ」

と ららちゃん。



そこで、さんには、
「せきやどりよう だい
かんしょ」をしらべるこ
とにした。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜ
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど
こかな？



わたしは、なぜなぜです。

でも、どうしらべてい
いか さっぱり わから
ない。

さんにんは、あたまを
くっつけて、かんがえた。



そのときだった。なっ
ちゃんが、

「おじいちゃんにきいて
みよう？」

と いいだした。

なっちゃんは、ものを
よーくしっている おじ
いちゃんが、だーいすき。



さっそく つぎのひ
おしえてもらおうことにし
た。

「おじいちゃん、おくの
が、せきやどはんのとび
ちで、だいかんしょが、
くのにあったんだって、
しってる？」

「んー・・・あ！ そう
そう、ひいじいちゃんに
きいたことがある」



むかし むかし

せきやどはんの どの
さまが、「ろうじゅう」（い
まのなにかくそうりだいじんみたいな
もの）になったころ、くわ
えられたりようちが、「し
だぐん」（いまのおくのちく）だ
ったそうだ。

そのとりまとめをして
いたのが、くのにある

「だいかんしょ」なんじ
や」

と きちょうなしやしん
をみせてくれた。

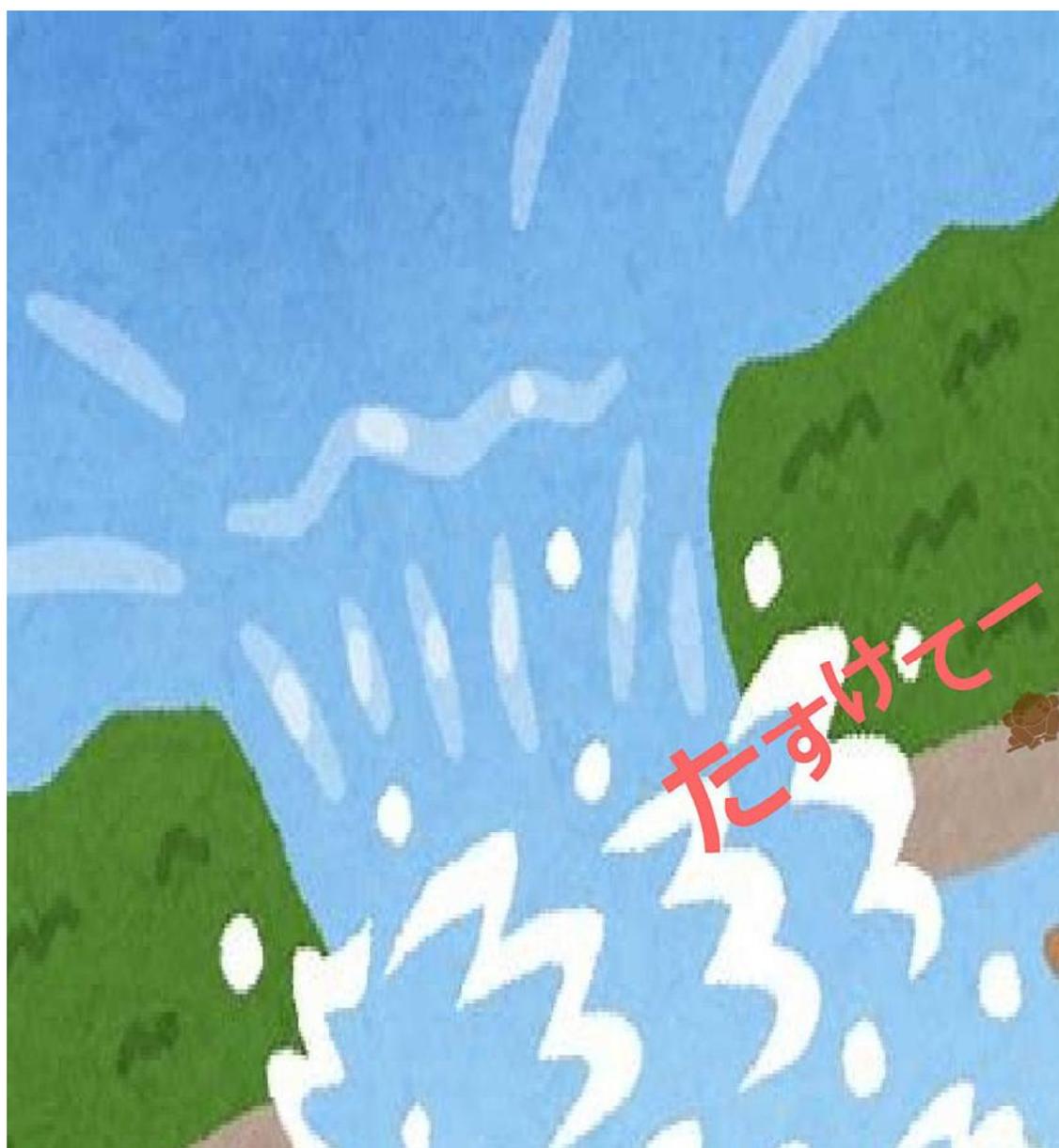


せきやどりようだいかんしよ (おおしょうや) あと
「おとのさまのげんかん、まじよのぼうしみたいだ」

そのころ「しだぐんり
よう」では、おのがわ、
かつらがわ、おつとがわ
のまわりで、たくさんの
おこめが、つくられてい
たんだ。



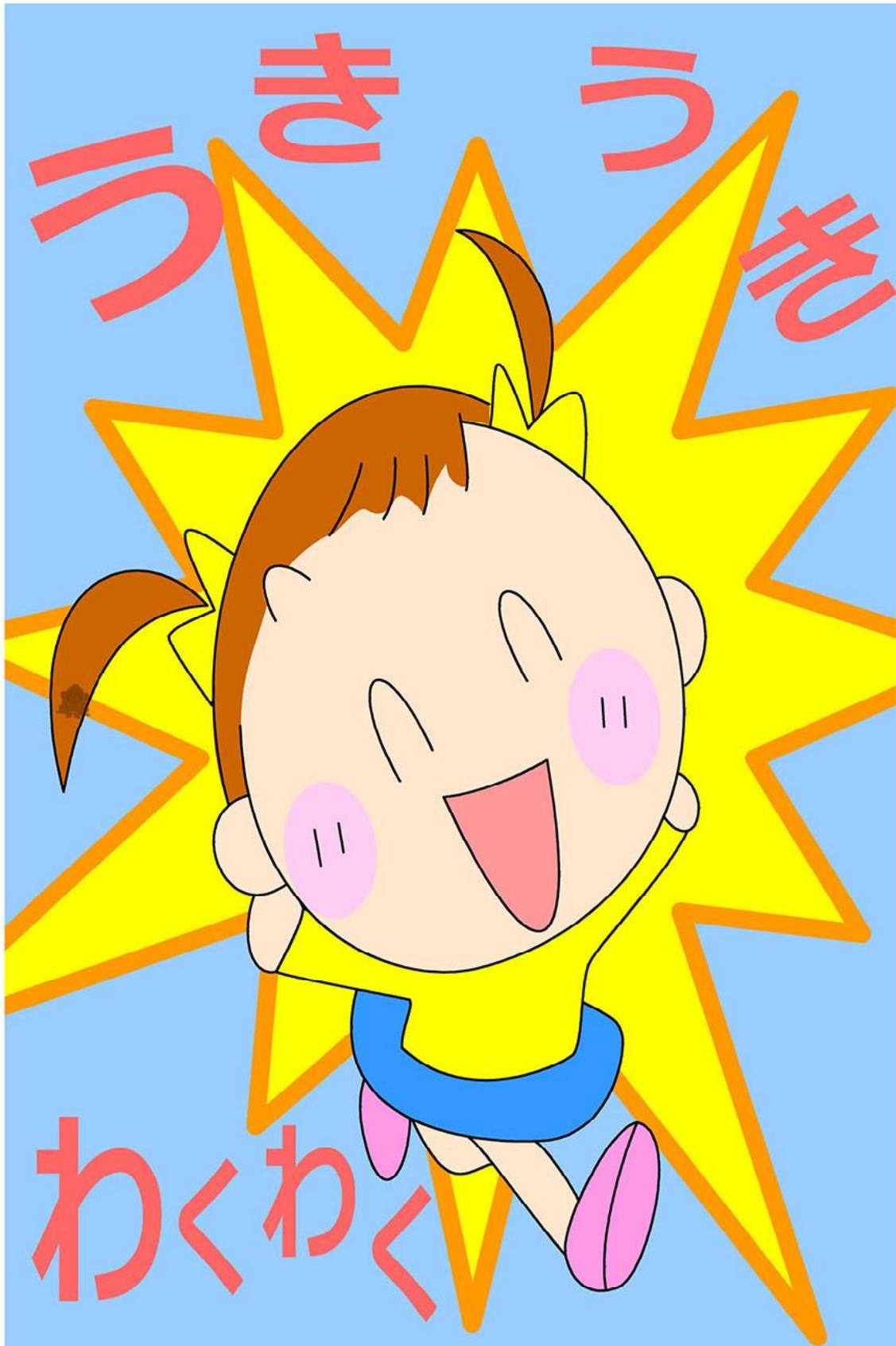
「たんぼが、どろぶかい
うえに かわのはんらん
が、おおかつたんじや」



「え！ そんなことが
あったんだ」
と なっちゃん。

びっくり！

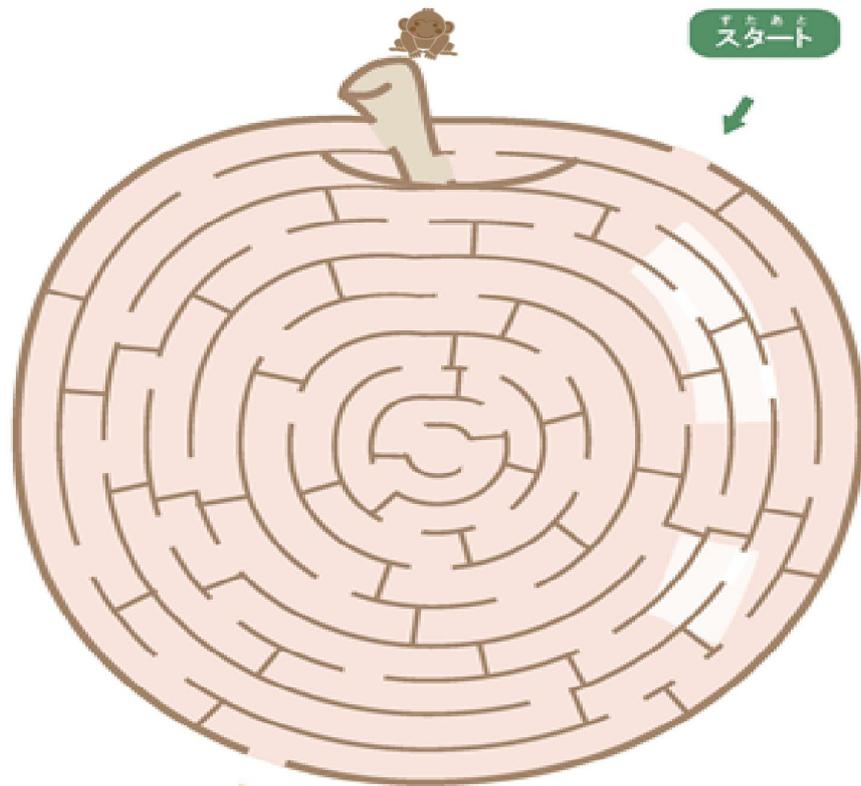
「もっと、くわしいこと
は、はやしさんに きい
たらいいよ」
と おじいちゃんが、し
ようかいしてくれた。



さんにんは、はやしさん
のいえに いくことに
した。

はやしさんのいえに いけるかな？

なっちゃんのおうち



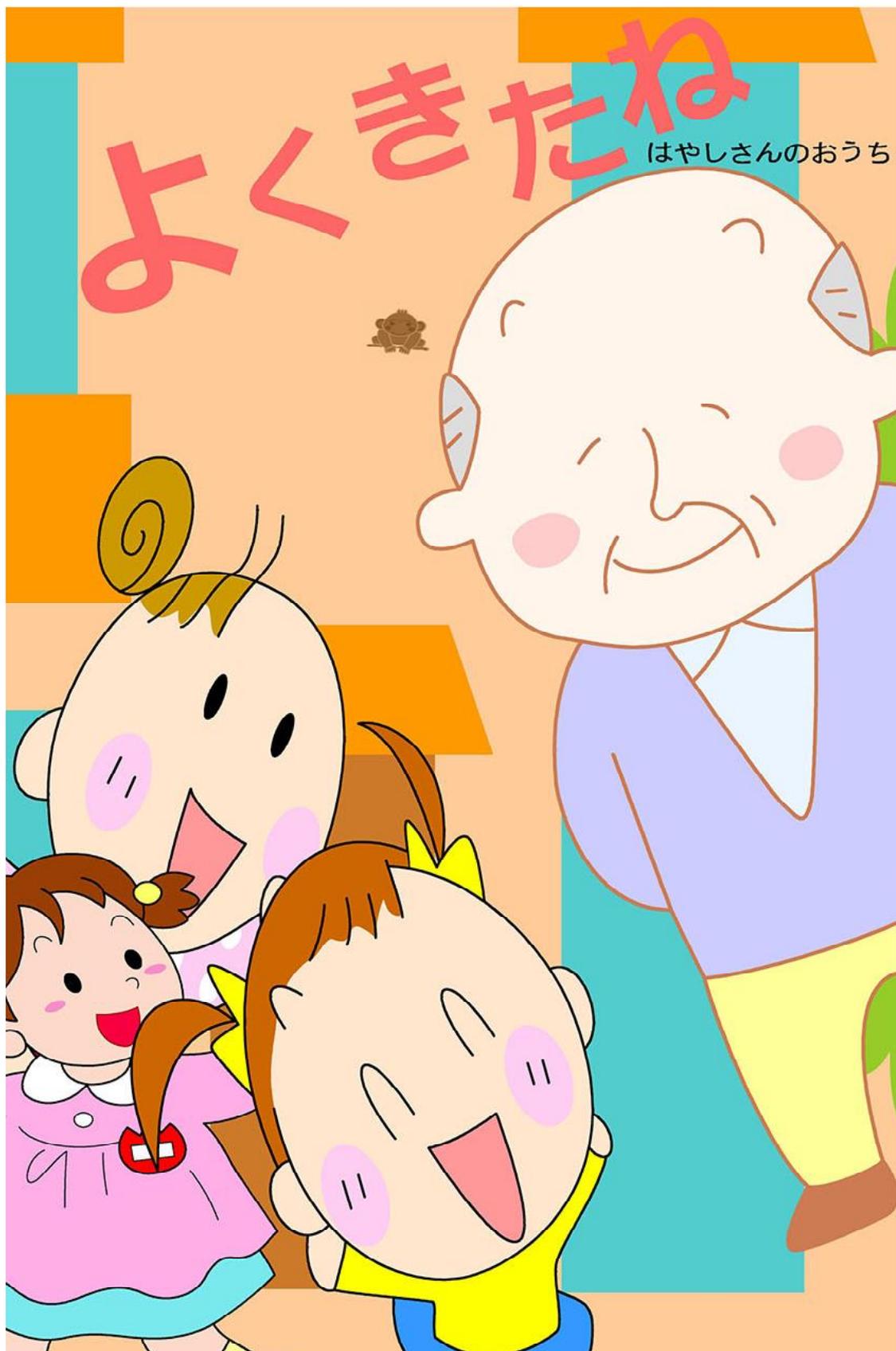
スタート

ゴール

はやしさんのおうち

幼児の学習素材館 <http://kotoba.littlestar.jp/kisetsu-sozai.html>

ついたら[©] . . .



さっそく、はやしさんが、はなしてくれた。

「むかし むかし、おのがわが、はんらんしたんじゃ・・・」

たんぼにみずが、ながれこみ、はんぶんが、あれちになっちゃったんだじゃ。「しくしく　しくしく」むらびとは、こまっちゃった。



「へー、そんなことが、
あったんだ」

びっくり!

おさかむらでは、ねんぐ（ぜい）をはらうためにねんきぼうこう（はたらきにする）にでたひともいたそうだよ。それでもまけずせんぞは、がんばったんじゃ。すると、てんからかかわりあいの「か」があたえられた。

くわえて

うしくしゆくをとおる
ひとのために ひとや
うまをおくるきまりがあ
ったんだ。のちに、おか
ねで、はらうようんなつ
たんじやが、いくらだと
おもう？

わからないよ？

じつは、なんと なんと (1809
ねんでは) 9りようだったんだ。いま
のおかねで やく **100まんえんだよ。**

びわくり!

それでもまけずに せんぞは、がんばったんだ。

すると、てんからみとめあいの「み」が、あたえられた。

そ れだけじゃ なかつた。

おさかむらでは、みと
のおとのさまが、えどに
いったり、かえったりす
るとき わかしばしゆく
(りゅうがさきし) にひと27
にんと うま25とうを
おくるきまりがあつたん
だ。

びっくりに!

それでも、まけずに
せんぞは、がんばったん
だ。すると、てんから ささえあ
いの「さ」があたえられた。

せきやどりようだい
かんしょのひとたちも が
んばったんだよ。

すると、まなびあいの「ま」があ
たえられた。

こうして、せんぞは、
あせと なみだで「か・
み・さ・ま」をてにいれ、
てんにのぼって「かみさま」
になったんだ。

そして、せきやどりよ
うのひとびとの しあわ
せをみまもるようになった
んだ。

「そ、そうだったのか」

わかった!

いまも、みまもってくれて
いるんだね。

はやく おじいちゃん
にも おしえてあげなく
ちゃ」

と なっちゃん。はしり
でした。

りりちゃんも ららち
ちゃんも

「そうかそうか、そんな
ことがあったのか。わた
したちも がんばらなく
ちゃね」

と かえっていった。

いそいでかえった な
っちゃん。おじいちゃん
に おしえてあげたよ。



「よーく、しらべたね」

えらい えらい

と めになみだを うか
べて、よろこんでくれた。
なっちゃん、おもわずに
っこり。

こうして、さんには、
また、ひとつ おくのの
たからものをみつけるこ
とができた。そして、し
らべる たのしさも、わ
かったのだった。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね